

# 心に響け！ひのくに太鼓♪

熊本県立ひのくに高等支援学校

## 1 はじめに

本校は、軽度の知的障がいがある生徒を対象とした、創立16年目の高等部単独の特別支援学校です。社会自立・職業自立を教育目標としており、そのために必要な「コミュニケーション力」や「アピールする力」、「自己表現力」を身につけるとともに、自己肯定感を高めることにつながる取組を紹介します。



## 2 音楽サークルの取組

本校には、何事にも関心を持って一生懸命に取り組む生徒が数多く在籍しています。必死に頑張る姿にさまざまな可能性を感じ、「のびのびと輝き、楽しく自己表現をするチャンスと経験を」という願いから、高校総合文化祭、県連合音楽会、東日本大震災チャリティーコンサート、ギネスに挑戦・熊本三千人太鼓や地域の夏祭りなどのイベントに参加し、合唱や合奏を披露してきました。

音楽サークルでは、創立当初は放課後の時間を活用して、週2回ほど合唱の練習をしてきました。平成23年からは和太鼓にも取り組み、その年から「黒髪地区地域ふれあいフェスティバル」に和太鼓の演奏で参加するようになりました。太鼓初体験の生徒たちが、バチの持ち方、いろいろな音の出し方など基本のスタイルを中心に練習を重ねました。曲の練習に入ってから、リズムを合わせ、姿勢に気を配り、周りとの息を合わせてたたく練習を何度も繰り返し本番に臨みました。生徒たちは実に堂々と演奏し、緊張しながらもとても楽しそうでした。お客様からもスタッフの方からも「とてもよかったです。感動しました」「また来年もお願いします」とお褒めのことばをいただきました。

黒髪地区地域ふれあいフェスティバルには、それ以来6年連続で参加させていただいています。自分たちの演奏に加えて、地域の子供たちと一緒に演奏したりして、年々趣向を凝らして臨んでいます。今年は「昨年よりバージョンアップしましたね」「心に響きました」とうれしいおことばをいただき、生徒たちの音楽活動に対する意欲が高まったように感じています。

今年は、本校生が現場実習でお世話になったご縁で、「山鹿デイサービスセンターアロハ10周年記念イベント」にも参加しました。ここで特筆すべきは、施設の利用者様とふれあいながら演奏したことです。和太鼓演奏に加えて、唱歌を一緒に歌ったり、利用者様と手遊び歌を歌ったりしました。高齢の方との初めてのふれあいにとまどっていた生徒たちが、初々しくも、優しく一生懸命に接している姿がとても印象的でした。生徒たちに豊かな経験を積むことができる機会を与えてくださったことに感謝しております。



## 3 おわりに

これまで、「自分自身にあまり自信がない」、「アピールできることはない」と言っていた生徒たちにとって、ステージに立っての演奏や地域の子供たちや高齢の方とのふれあいを大切にしたボランティア活動は、貴重な成功体験でした。その積み重ねが、今までにない充実感や満足感をもたらし、学校生活の中で、何事にも自信を持って取り組もうとする姿勢につながったように思います。

さらに、この「人に喜んでもらう」「人を笑顔にする」という経験は、障がいのある生徒たちが近い将来、積極的に社会参加するだけでなく、社会に貢献しようとする意欲へとつながるはずです。生徒たちが「生きがい」を感じられる充実した人生を歩むことができるよう、今後もサポートを継続しつつ、一緒に歩んでいきたいと思っています。